



原小だより



学校教育目標
 ・心豊かな子
 ・たかましい子
 ・自ら学ぶ子

5月号

令和8年4月28日
 さいたま市立原山小学校

「ワクワクすることを見つけよう」

校長 財部 幸樹

新年度がスタートして早一ヶ月が経とうとしています。通学路で登校指導を行っている中、1年生も私の顔を覚えてくれたようで、笑顔で「おはようございます。」のあいさつをしてくれます。私も負けずに笑顔で「おはようございます。いってらっしゃい」と一言プラスしてあいさつをするようにしています。こんな何気ないあいさつのやり取りから、「今日はどんな一日になるかな。今日も一日、元気に学校を楽しもう。」という、子どもたちのワクワクした気持ちが伝わってきます。

4月15日(水)、浦和レッズレディースの水谷 有希選手と伊勢 はな選手が来校し、6年生対象の特別授業を行っていただきました。選手たちからは「何事にも挑戦して、自分が何にワクワクするか探していくことを大切にしてほしい。」「試合の時は勝っていても負けていても、前向きな言葉を掛け合って、笑顔で楽しむことを心がけることが秘訣です。」といったお話がありました。5月8日に行う親善バスケットボール大会に向けて練習が始まる6年生にとって、大変参考になるお話を聴く機会になりました。6年生からも多くの質問が出て、プロ選手との交流を楽しみました。今後も地域の皆様との連携を図りながら、子どもたちがワクワクすることを見つけられる教育活動を展開していければと考えています。

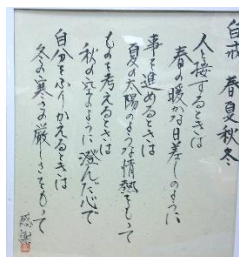


さて、明日から連休に入ります。本校では「4月30日(木)振替休業日」と「5月1日(金)さいたま市民の日」を組み合わせ、8連休となります。「さいたま市民の日」を含みますので、さいたま市の魅力について再確認する機会を、ぜひ設けていただければと思います。私は、連休中、埼玉スタジアム2002で、地元プロサッカークラブチームの試合を観戦し、「サッカーのまち」を味わう予定です。熱い試合で私たちの心をワクワクさせてくれることを期待しています。

皆様、安全に十分留意され、素敵な連休をお過ごしください。連休後、子どもたちからワクワクした思い出話を聞くのを楽しみにしています。

自戒「春夏秋冬」(出典不明)

- 春…人と接するとき、春の暖かな日差しのように
- 夏…事を進めるときは、夏の太陽のような情熱をもって
- 秋…ものを考えるときは、秋の空のように澄んだ心で
- 冬…自分をふりかえるときは、冬の寒さの厳しさをもって



運動会を開催する「5月」。運動会の内容を企画したり、練習したりする等、ワクワクすることを通して、仲間とのきずなを深めていく時期。人と接するとき、春の暖かな日差しのように。